

平成21年度当初予算の概要

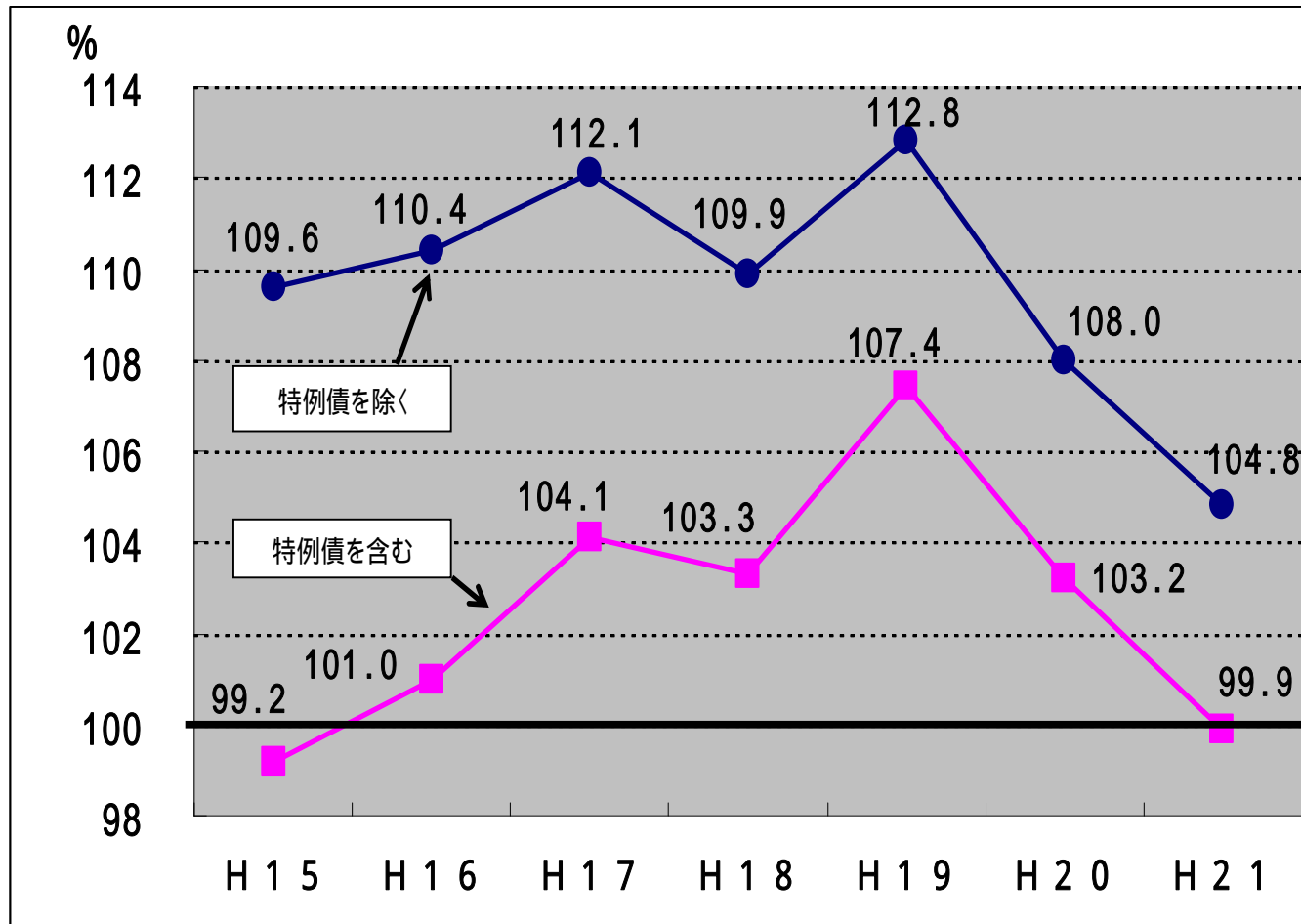


箕面市公式ブログキャラクター
「モミジーヌ」

経常収支比率 6年ぶりに経常収支比率を100%以下に抑制

当初予算における経常収支比率^(注1)を平成15年度当初予算編成以来6年ぶりに100%以下に抑制しました。ただし、見通しの立たない暫定的な財源である臨時財政対策債^(注2)を除いた実質的な経常収支比率は依然として、100%を超過し104.8%となっています。

経常収支比率(当初予算)の状況



経常収支比率

99.9% < 3.3ポイント >

(注1) 経常収支比率

経常的な支出(人件費、施設の維持管理、福祉・教育サービスなどの経費)を経常的な収入(市税等)で、どの程度賄えているのかを示しています。

100%を超過することは赤字であることを示しており、家計に置き換えれば給料で生活費が賄えない状態のことです。

(注2) 臨時財政対策債

市町村では、地方債(市の借金)の発行は、施設整備等にのみ認められています。

臨時財政対策債は、その例外として、財源不足などのために用途を限定せず、国が定める限度額の範囲で発行を認められる地方債のことです。

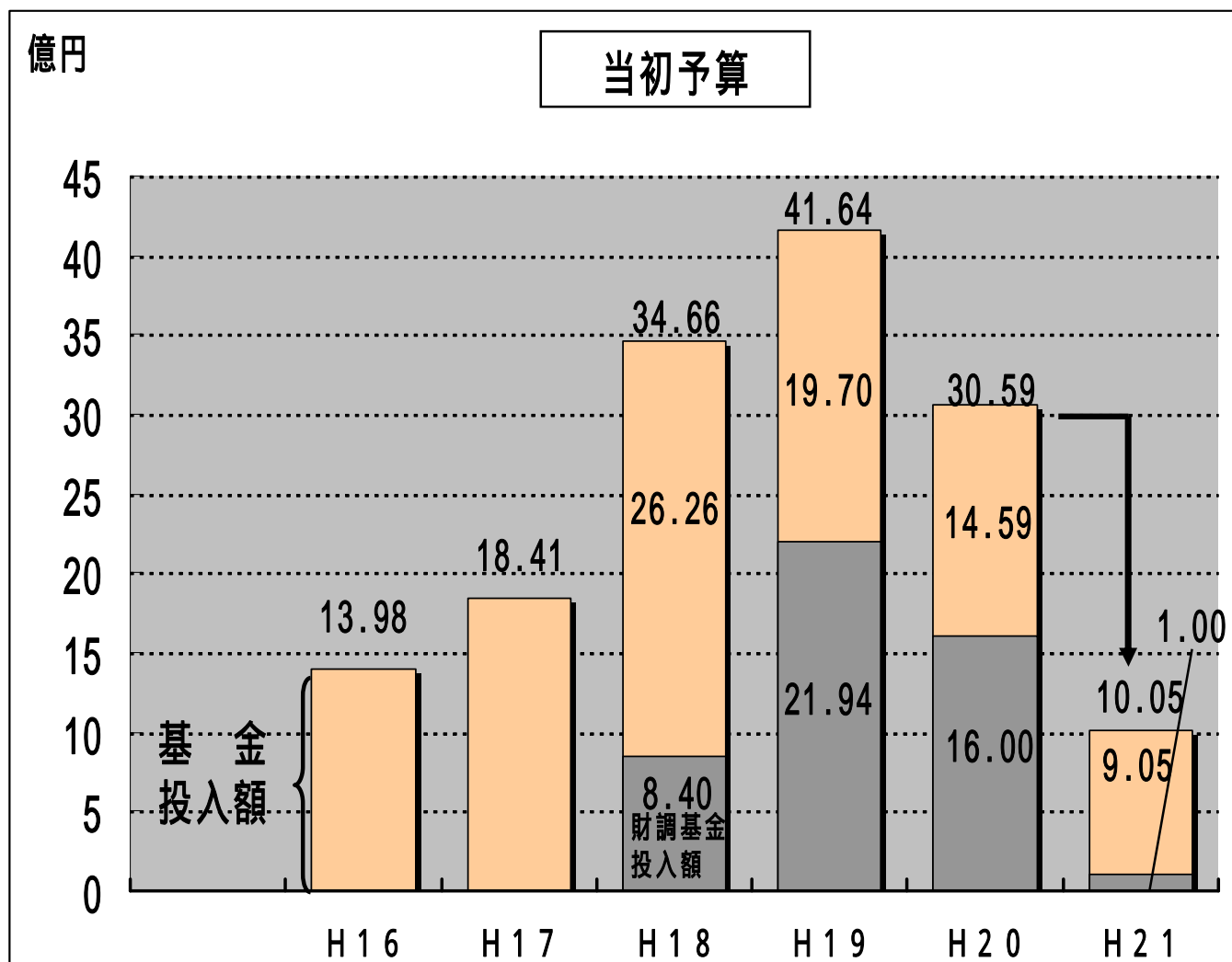
特例債 平成18年度までは、臨時財政対策債及び減税補てん債
平成19~21年度は、臨時財政対策債

積立基金 基金投入額を約10億円に抑制(前年度予算の約1/3)

基金投入額については、前年度に比べ66.9%減の約10億円(前年度約30億6千万円)に抑制することができました。

そのうち、財政調整基金からの取崩額は、前年度に比べ93.8%減の1億円(前年度16億円)にとどめました。

基金投入額の推移(取崩額 - 積立額)



基金投入額

10億15百万円

< 20億55百万円、66.9% >

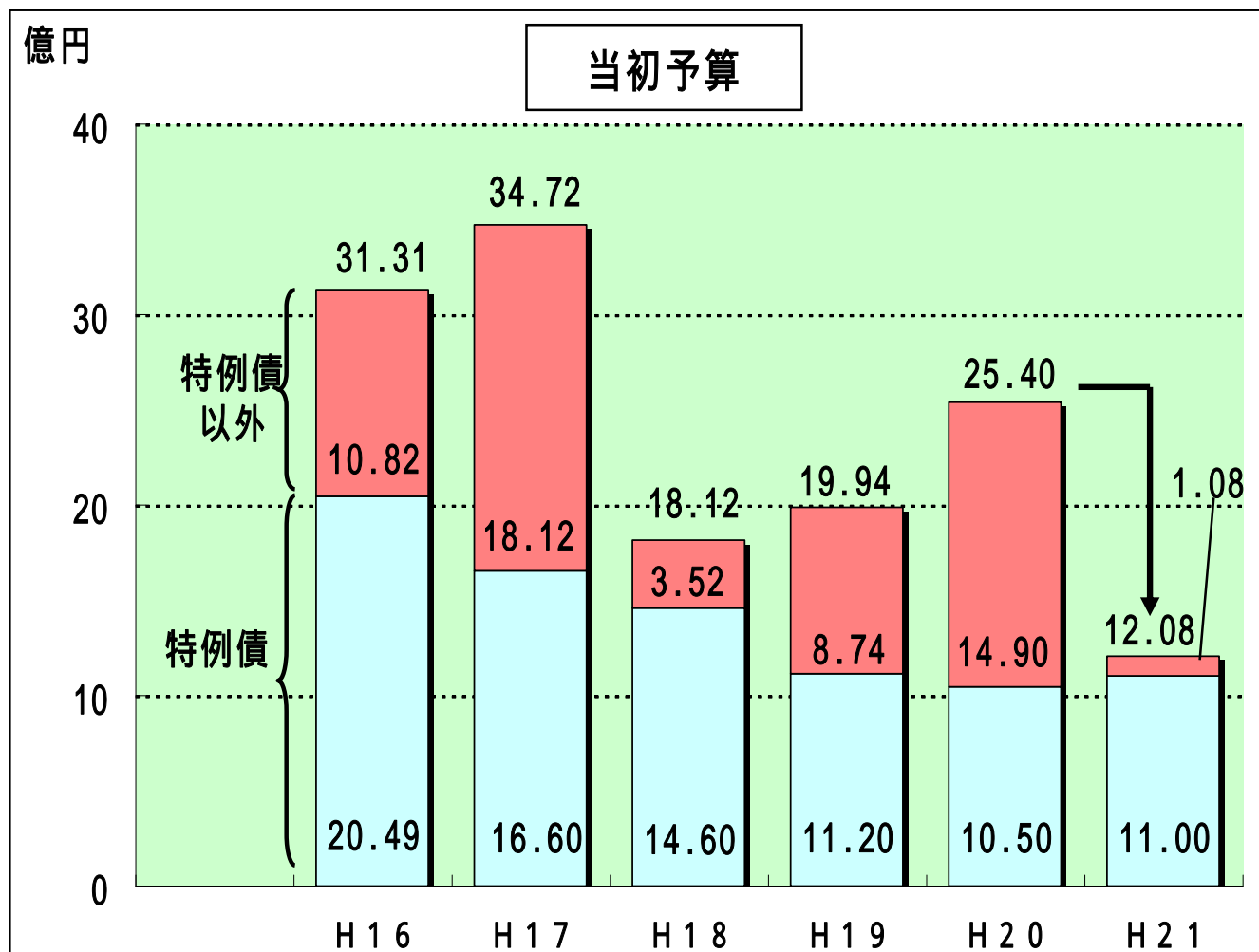
市債

市債発行額を約12億円に抑制(前年度予算の約1/2)

臨時財政対策債については、本市は約16億円の発行が可能ですが、将来への借金であることから11億円の発行にとどめました。

これにより、市債発行額は前年度に比べ52.4%減の約12億円(前年度25億4千万円)に抑制することができました。

借入金の推移



市債発行額
12億8百万円
< 13億32百万円、52.4% >



平成21年度重点施策の概要



安心・支え合い最優先

お年寄りから子どもまで、障害のある人もない人も、誰もがこの箕面の地で、そして、地域の中で、互いに支え合いながら、その人らしく、安心して幸せな日常生活が送れるまちづくりを進める。

(重点施策)

| | |
|------------------|-----------|
| 公共施設の耐震化 | 270,438千円 |
| 全小中学校のアスベスト対策の完了 | 16,792千円 |
| 消防力の充実強化 | 136,696千円 |
| 阪急牧落駅バリアフリー化 | 71,000千円 |
| 支え合う地域活動の支援・促進 | 5,585千円 |

- 公共施設の耐震化

270,438千円

- ・公共施設耐震化計画に基づき、避難所となる学校の耐震化を計画的に実施（平成21年度は西南小学校、第三中学校の補強工事等）
- ・市民会館（グリーンホール）について、耐震補強設計に併せてエレベーターの設置に着手



- 全小中学校のアスベスト対策の完了

16,792千円

- ・労働安全衛生法施行令等の改正に伴い、従来より厳しい含有率基準が示された結果、唯一、含有率が基準値を超えた東小学校の除去工事を実施
- ・市内の全小中学校のアスベスト対策を完了



- 消防力の充実強化

136,696千円

・非常備消防を含めた消防力の充実強化を図り、市民の消防需要に的確に対応するため、NOx・PM法の使用期限に伴い消防車両5台(常備1台・非常備4台)を新型車両に更新



- 阪急牧落駅バリアフリー化

71,000千円

- ・阪急牧落駅のエレベーター設置等に着手(平成22年度竣工予定)
- ・阪急箕面線全駅のバリアフリー化を完了



- 支え合う地域活動の支援・促進

5,585千円

- ・地域が実情に応じて自ら予算用途を決める仕組みとして、補助金を統合・拡充し、新たな地域交付金を創設
- ・子どもたちの見守り、地域の防犯力を高めるため、地域を巡回する企業や市民団体との連携・協力を推進



子育てしやすさ日本一

各自治体の子育て支援に切磋琢磨する中、自治体間競争に勝ち抜き、「子育てするなら箕面」と呼ばれるような、子育て環境の整備と教育の充実に努める。

(重点施策)

| | |
|-----------------|-----------|
| 「未来子ども基金」の創設 | 150,001千円 |
| 子育て世代への医療費支援の拡大 | 301,766千円 |
| きめ細やかな子育て支援の充実 | 3,630千円 |
| 小中一貫教育の推進 | 31,479千円 |
| 学校施設の学習環境の向上 | 148,005千円 |
| 生徒指導の充実 | 40,452千円 |

- 「未来子ども基金」の創設

150,001千円

- ・未来を担う子どもたちが箕面のまちで健やかに成長するための事業を推進するため、新たな基金を創設
- ・学習環境や保育環境の向上、子どもの安全・健全育成活動の事業に充当



- 子育て世代への医療費支援の拡大

301,766千円

- ・子どもの医療費助成の対象年齢について、通院は小学校入学前まで、入院は中学校入学前まで拡大するとともに、所得制限を撤廃
- ・妊婦健康診査に係る公費助成を、従来の5回から概ね全回の14回に拡充

子育てしやすい日本一宣言
箕面市

通院 箕面市
入院 子どもの医療証

公費負担者番号 8 6 2 7 0 2 1 2

受給者番号

住 所

氏 名

生年月日

有効期間

大阪府
発行機関名 箕面市長 大阪府箕面市長の印

印 印

交付年月日

この証は、大阪府以外では使えません。

詳しくは、ホームページをご覧ください。
お問い合せください。



- きめ細やかな子育て支援の充実

3,630千円

- ・生後4ヵ月までの乳児のいる家庭を全戸訪問する「赤ちゃん・子どもすこやか事業」を新たに実施
- ・乳児と保護者の心身の状況や養育環境の把握、子育ての情報提供、健康教室等の実施



- 小中一貫教育の推進

31,479千円

- ・彩都において、箕面市で2校目(=大阪府内で2校目)となる施設一体型小中一貫校の建設に着手
- ・その他の小中学校においても校区連携型小中一貫教育を推進



- 学校施設の学習環境の向上

148,005千円

- ・市内の全中学校のすべての普通教室にエアコンを設置
- ・市内の全中学校のコンピュータ教室のすべてのコンピュータを更新
(とどろみの森学園は追加配備)

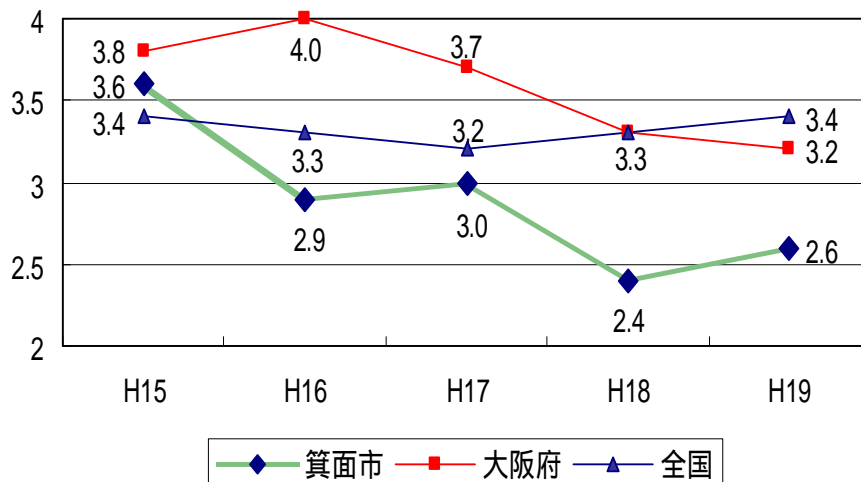


- 生徒指導の充実

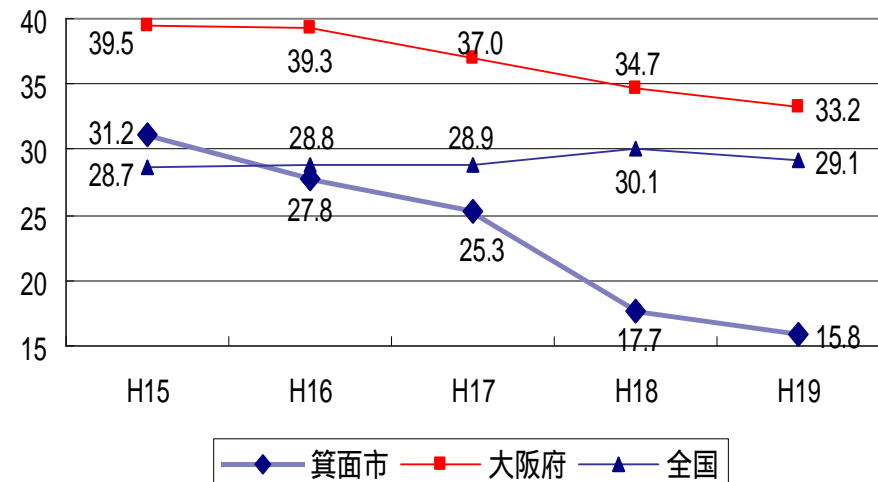
40,452千円

・生徒指導の充実が学力向上につながることから、箕面市独自の生徒指導の支援講師(生徒指導担当者授業支援員)を中学校2校に追加し、市内の全中学校への配置を完了、さらに、小学校1校にも追加配置

小学校不登校出現率(千分率)



中学校不登校出現率(千分率)



緑・住みやすさ最先端

箕面を特徴づける一番の魅力は、山の緑に代表される豊かな自然環境と良好な住環境である。このようなすばらしい山々、緑がいたるところにあり、便利で住みやすく、誰もが元気で活力ある箕面をめざす。

(重点施策)

| | |
|------------------------------|----------|
| 山なみ景観の保全・育成 | (予算なし) |
| 「(仮称)みどりファンド」の創設 | (予算なし) |
| 市内バス路線網の充実に向けた 法定協議会の設置など | 2,000千円 |
| 北大阪急行線の延伸 | 54,528千円 |

- 山なみ景観の保全・育成

・住宅地に近接する山々について、従来の都市計画法や景観法等の手法で対応できない部分について、新たな保全手法の条例化の検討に着手



- 「(仮称)みどりファンド」の創設

・住宅地の巨木やシンボルツリーの植栽、生け垣緑化など、これらの緑を守り、育て、活かすことにより箕面のブランド力を高めるための助成制度の検討に着手



- 市内バス路線網の充実に向けた法定協議会の設置など

2,000千円

- ・バスのサービスや運行水準等を実証する社会実験を平成22年度に実施するため、法律に基づく法定協議会を立ち上げ、公共施設巡回福祉バス(Mバス)と路線バスとの連携や一体化を検討
- ・ノンステップバスの導入支援



- 北大阪急行線の延伸

54,528千円

・商業活性化や駅の開設によるバス路線網の充実などの観点から、北大阪急行線の延伸に向けた関係者との協議を加速するとともに、当初予算での「交通施設整備基金」(鉄道延伸用資金)への積立を15年ぶりに再開

